



2012年3月期

第2四半期 決算説明会

SMK株式会社

2011年10月27日

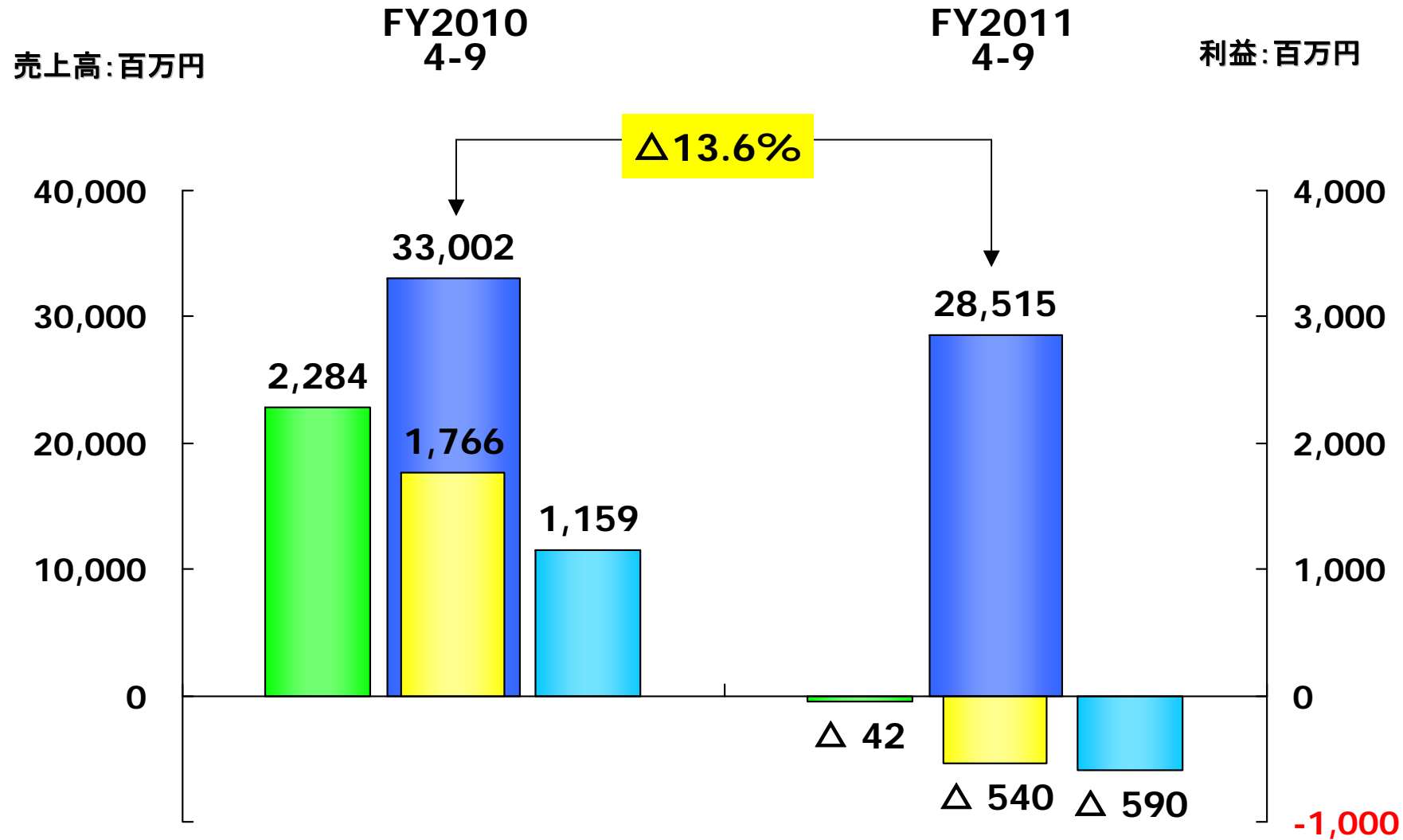


FY2011 2Q決算の概況

取締役 常務執行役員 山田 一



<連結>第2四半期業績

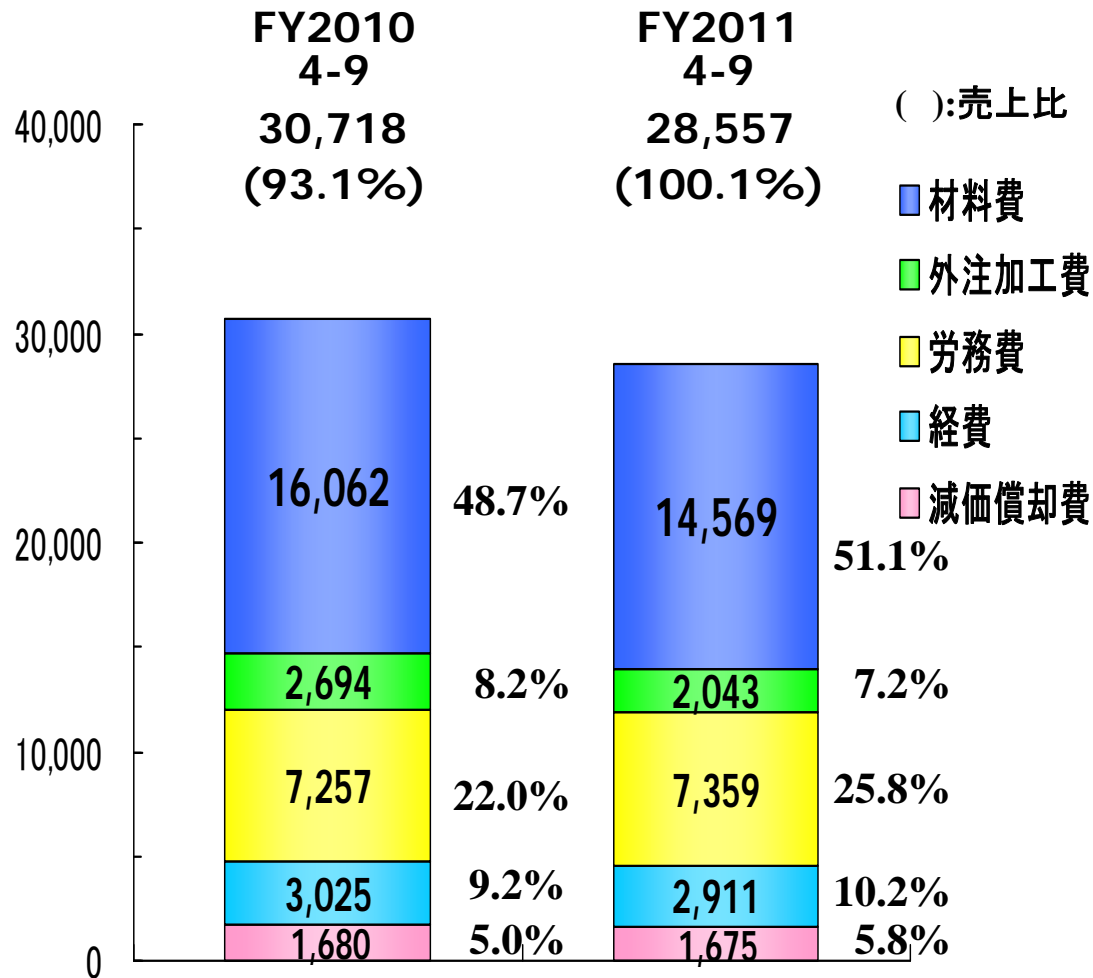


■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益



<連結>営業費用

(単位:百万円)



〔(材料費+外注加工費)1.4%増加〕
56.9%→58.3% 409百万円

〔労務費 102百万円増加〕
中国の人件費増加、内作の推進

〔経費 114百万円減少〕
生産拠点における経費の抑制

営業利益 2,284
(6.9%)

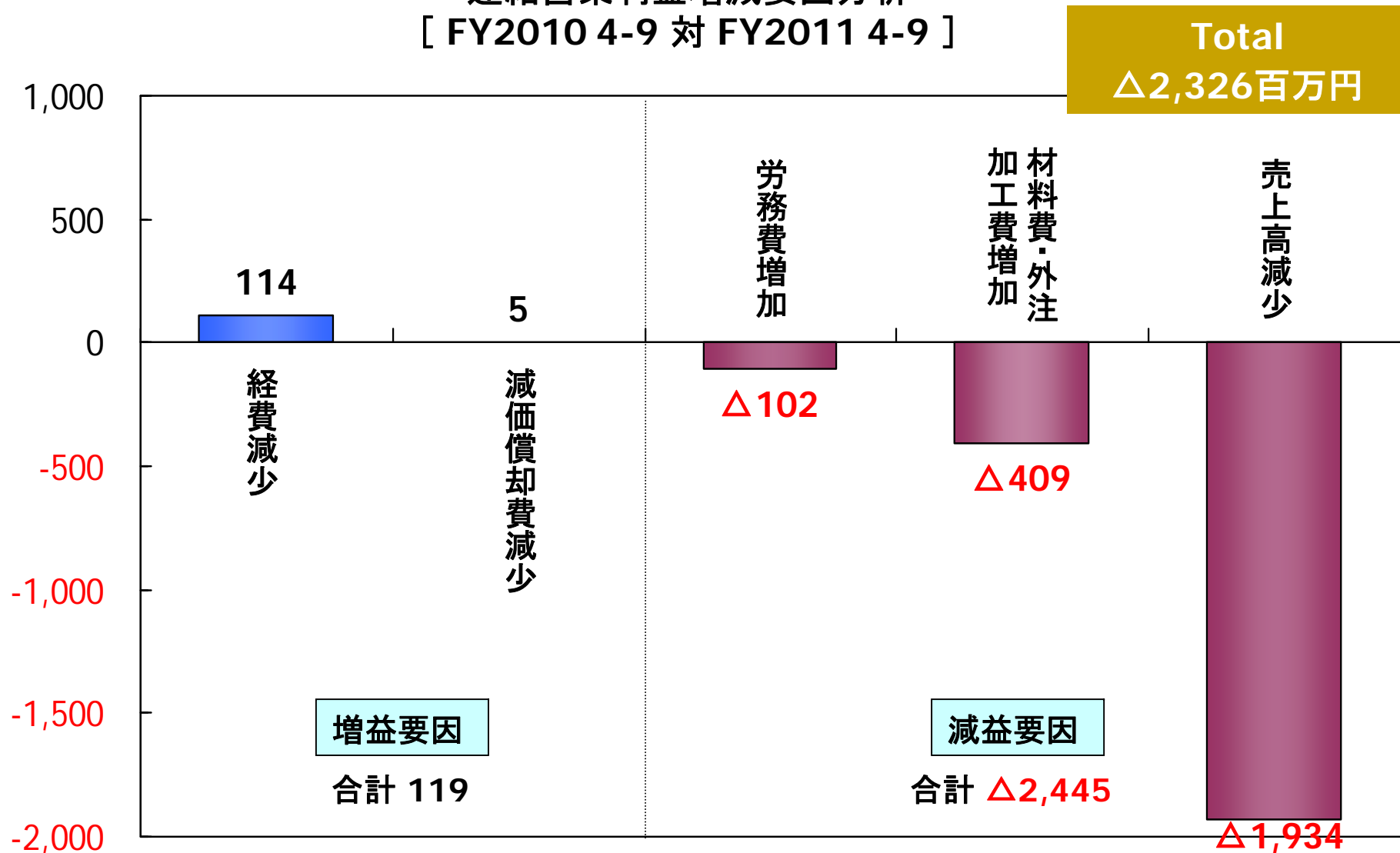
△42
(△0.1%)



<連結> 営業費用分析

連結営業利益増減要因分析
[FY2010 4-9 対 FY2011 4-9]

(単位:百万円)





<連結> 営業外損益

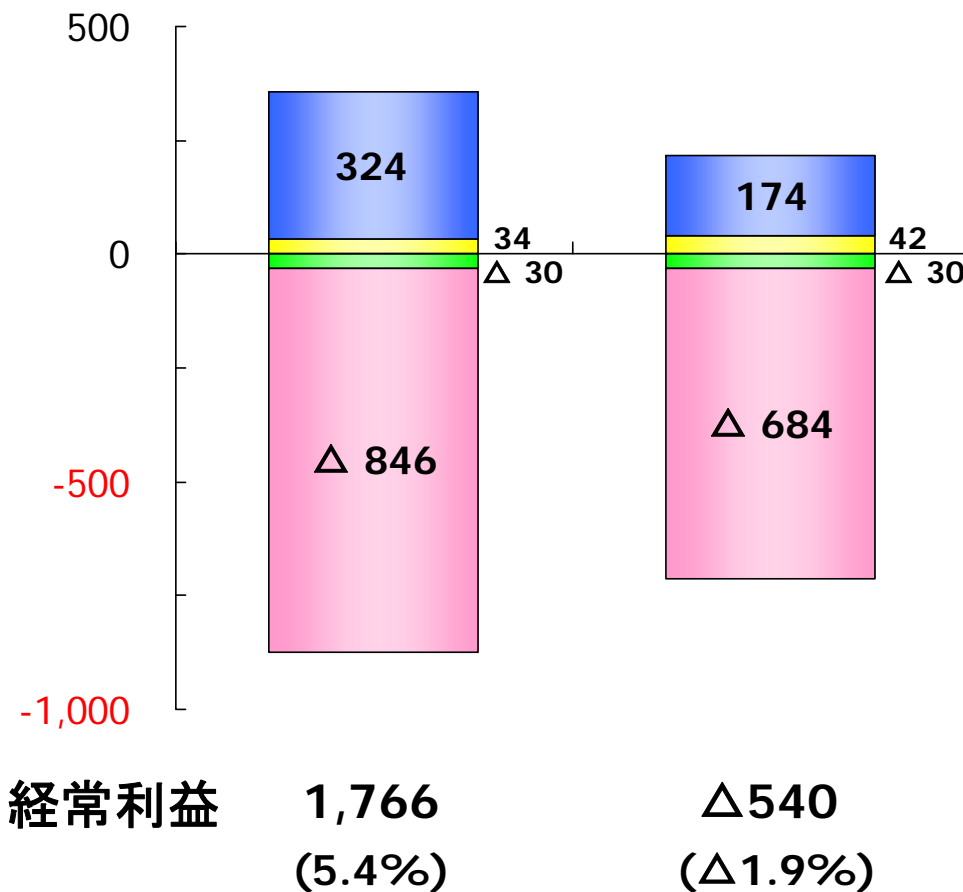
6/46

FY2010
4-9
△518
(△1.5%)

FY2011
4-9
△498
(△1.8%)

(単位:百万円)

():売上比



- 為替差損益
- 不動産収支
- 金融収支
- その他

[為替差損 162百万円減少]

1. 前期2Q

2010/3 ￥93.04/\$

2010/9 ￥83.82/\$ 9.22の円高

2. 当期2Q

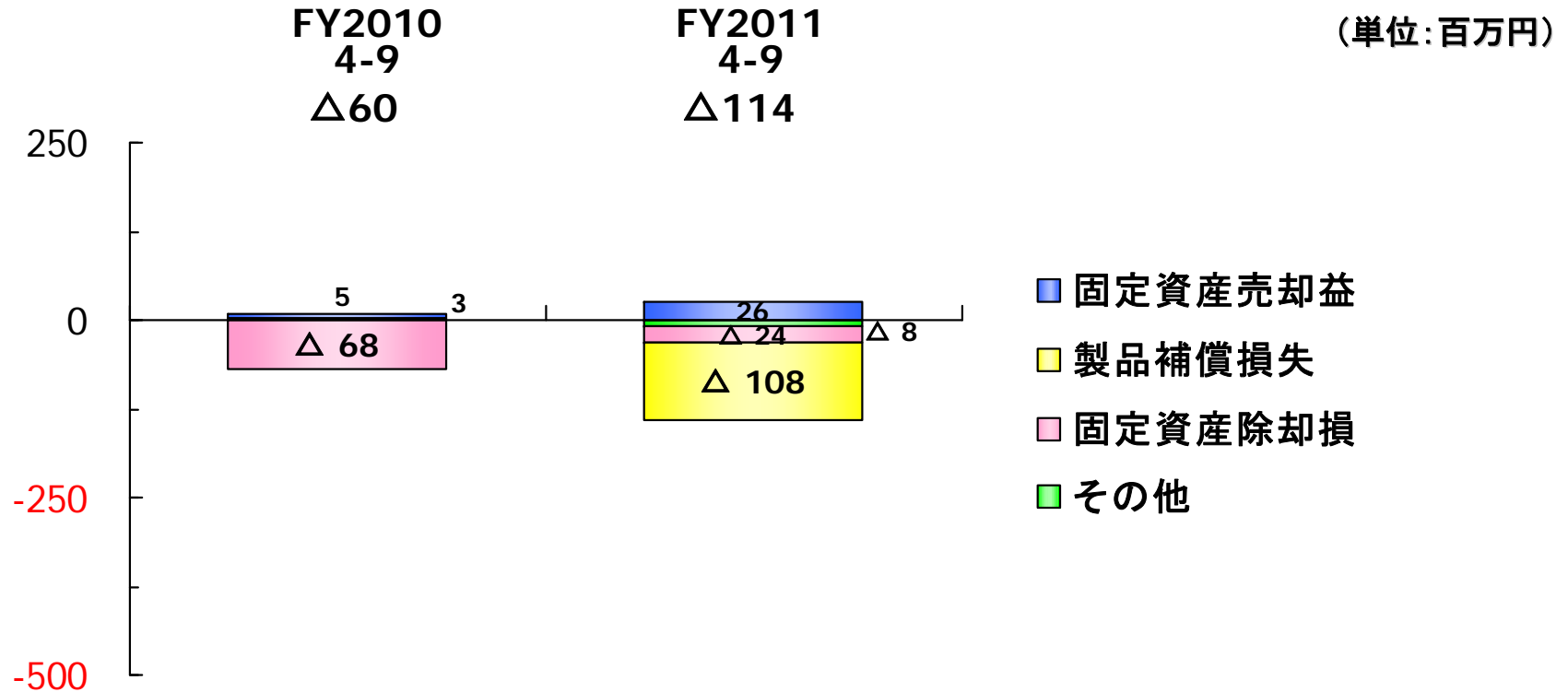
2011/3 ￥83.15/\$

2011/9 ￥76.65/\$ 6.50の円高



<連結>特別損益

7/46



税引前利益	1,706	△654
税金等(含税効果処理)	△547	64
当期純利益	1,159	△590
	(3.5%)	(△2.1%)

():売上比



<連結>業績推移(四半期別)

8/46

1. FY2011

(単位:百万円)

	上 期			下 期		通 期
	第1QTR (11/4~6) [実績]	第2QTR (11/7~9) [実績]	合 計 (11/4~9) [実績]	合 計 (11/10~12/3) [予想]		合 計 (11/4~12/3) [予想]
① 売上高	14,111	14,404	28,515	32,285		60,800
② 営業利益	47	△89	△42	742		700
③ 経常利益	△106	△434	△540	840		300
④ 当期純利益	△161	△429	△590	990		400

2. FY2010

(単位:百万円)

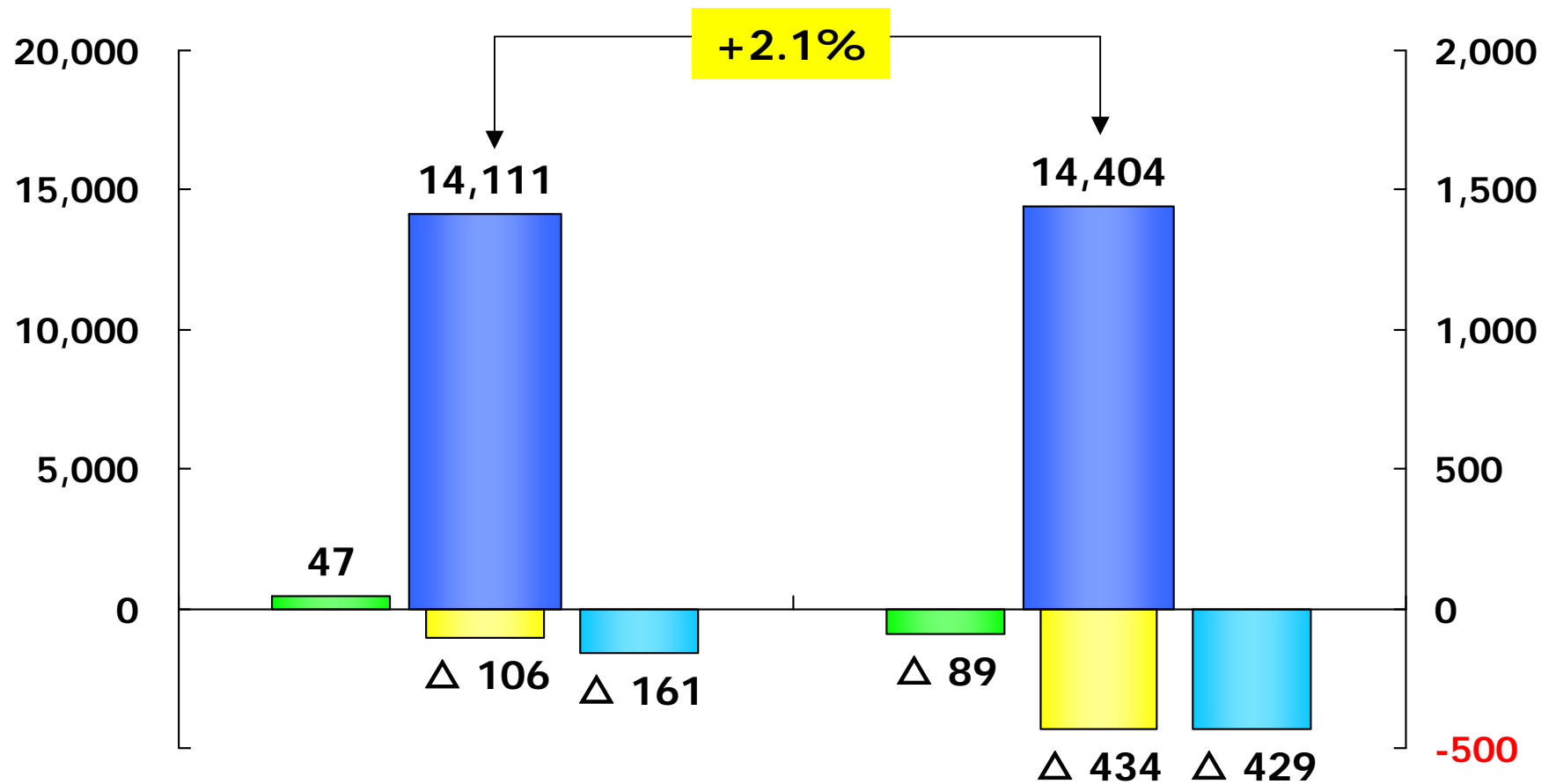
	上 期			下 期			通 期
	第1QTR (10/4~6)	第2QTR (10/7~9)	合 計 (10/4~9)	第3QTR (10/10~12)	第4QTR (11/1~3)	合 計 (10/10~11/3)	合 計 (10/4~11/3)
① 売上高	16,056	16,946	33,002	14,732	14,180	28,912	61,914
② 営業利益	1,215	1,069	2,284	355	115	470	2,754
③ 経常利益	937	829	1,766	297	442	739	2,505
④ 当期純利益	628	531	1,159	51	△173	△122	1,037



<連結> 第2四半期業績(対当期第1四半期)

9/46

売上高:百万円 FY2011 4-6 FY2011 7-9 利益:百万円



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益

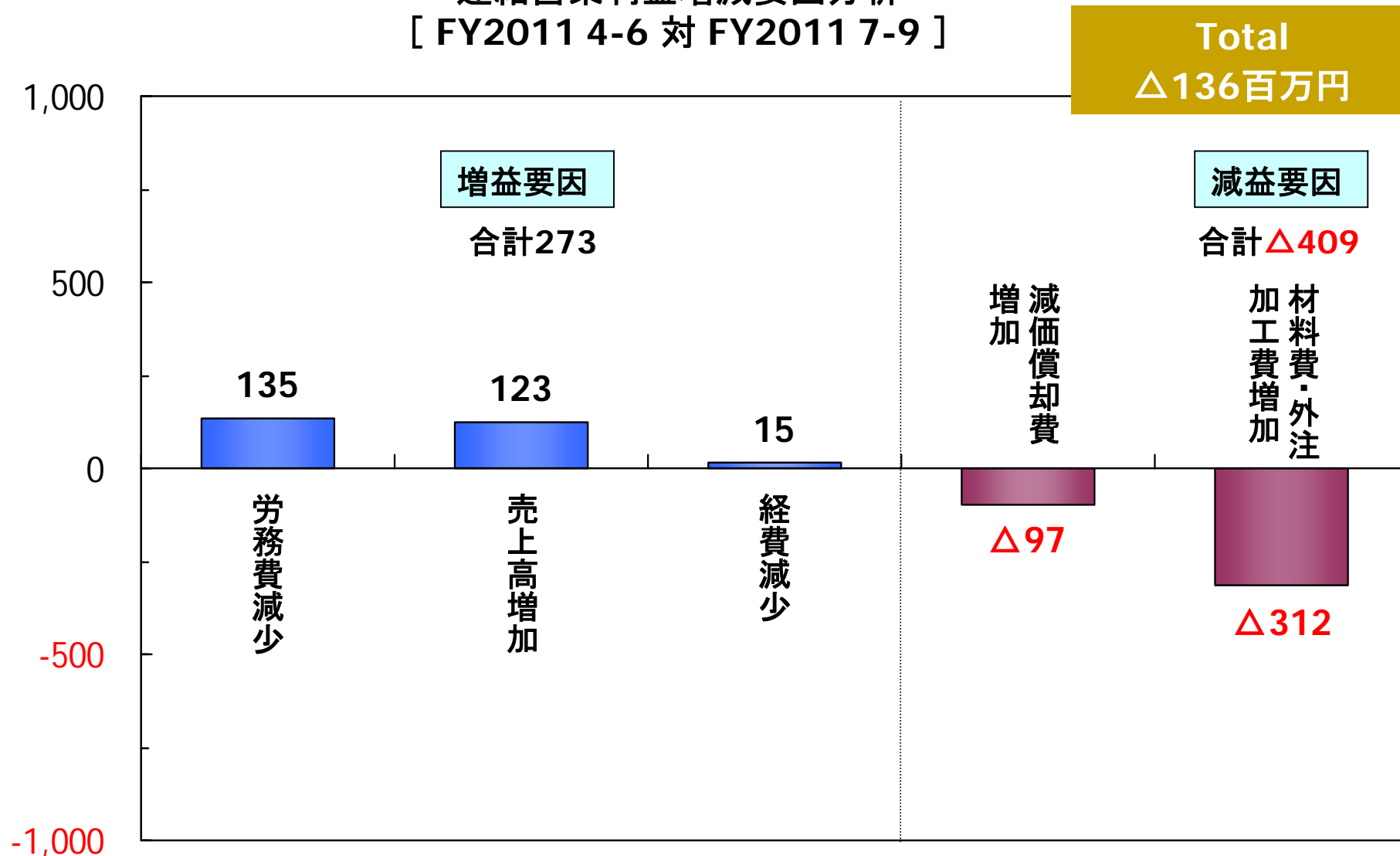


<連結> 営業費用分析 (対当期第1四半期)

10/46

連結営業利益増減要因分析
[FY2011 4-6 対 FY2011 7-9]

(単位:百万円)





<連結>財政状態

11/46

(単位:百万円)

	2011/3 (A)	2011/9 (B)	増減 (B-A)
資産	53,059	51,611	△1,448
現預金	7,442	6,810	△632
受取手形及び売掛金	14,841	15,305	464
棚卸資産	5,672	5,556	△116
固定資産	21,205	20,366	△839
負債	23,197	23,545	348
買掛金及び未払金	10,981	10,302	△679
有利子負債	8,926	10,393	1,467
純資産	29,862	28,066	△1,796
資本金	7,996	7,996	—
自己資本比率	56.0%	54.1%	△1.9%



＜連結＞キャッシュ・フローの状況

12/46

(単位:百万円)

	FY2010 4-9	FY2011 4-9
営業キャッシュフロー	2,783	162
運転資金	370	△980
税引前利益	1,706	△654
減価償却費	1,659	1,635
その他	△952	161
投資キャッシュフロー	△1,791	△1,887
フリーキャッシュフロー	992	△1,725
財務キャッシュフロー	△2,203	1,137
有利子負債の増減額	△1,529	1,502
自己株式の増減額	△85	△75
配当金の支払金額	△589	△290
現金等期首残高	8,749	7,382
現金等期末残高	7,335	6,695



＜連結＞セグメント情報

13/46

FY2011 4-9

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計 (連結損益計算 書計上額)
	CS事業部	FC事業部	TP事業部	計		
売上高	10,919	12,324	5,162	28,405	110	28,515
セグメント利益 又は損失(△) (営業損失)	△86	43	△35	△78	36	△42

FY2010 4-9

	報告セグメント				その他 (注)	合計 (連結損益計算 書計上額)
	CS事業部	FC事業部	TP事業部	計		
売上高	12,615	16,238	4,074	32,927	75	33,002
セグメント利益 又は損失(△) (営業利益)	592	1,636	△7	2,221	63	2,284

(注) その他部品事業、リース、不動産賃貸、ファクタリング事業





FY2011第2四半期の実績と見通し

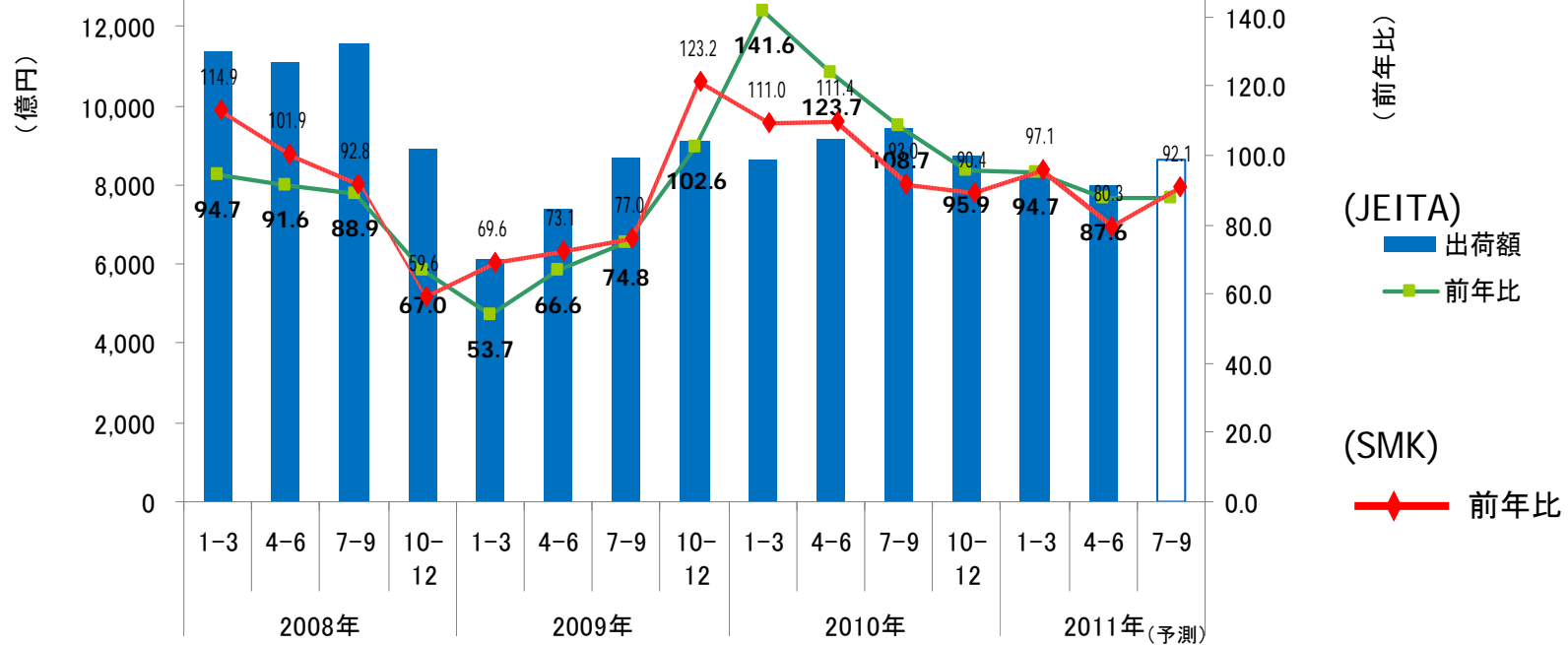
代表取締役 社長 中村 哲也



電子部品業界の景況概要 (JEITA資料)

2011年下期回復を見込みも、受注弱く先行き不透明

- 2009年実績: 3兆1, 287億円 (前年比72%)
- 2010年実績: 3兆6, 169億円 (前年比116%、2007年比72%)
- 2010年後半から薄型テレビ、ノートPC等は調整局面にある。
- 東日本大震災以降、サプライチェーン等の停滞などもあり減少傾向。

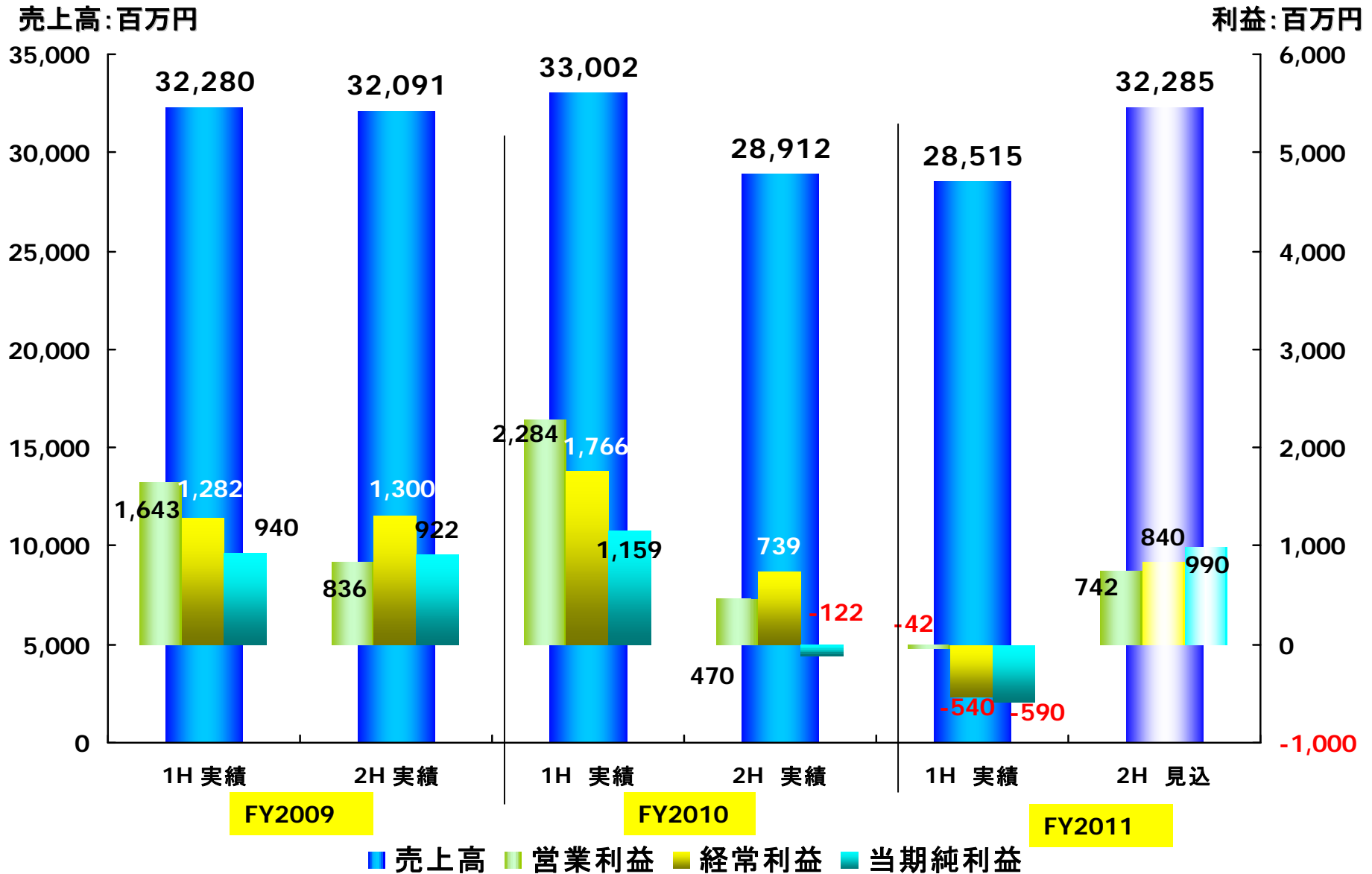


出所: JEITA





半期別 売上高、利益推移(FY2009~FY2011)

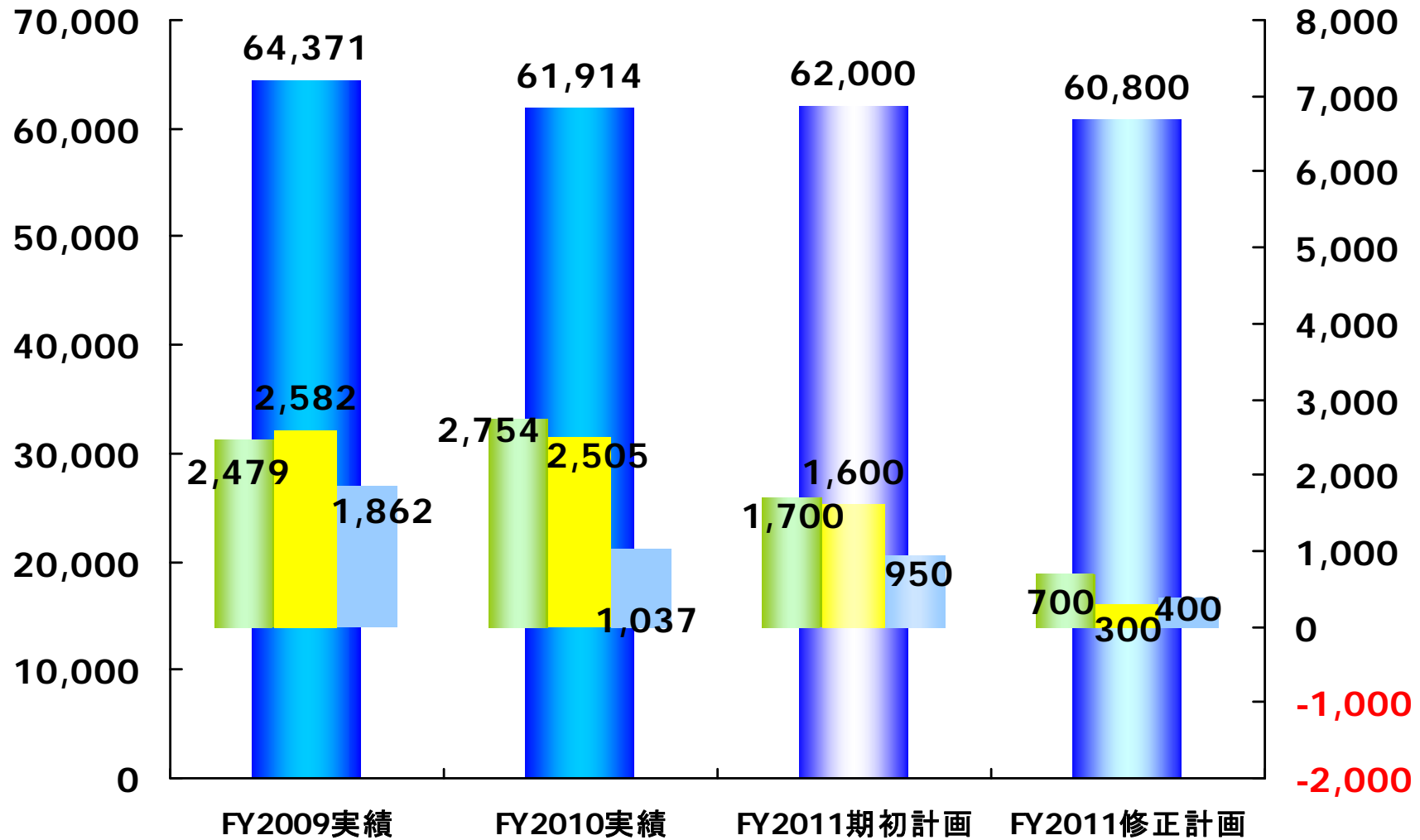




通期 売上高、利益推移(FY2009~FY2011)

売上高:百万円

利益:百万円

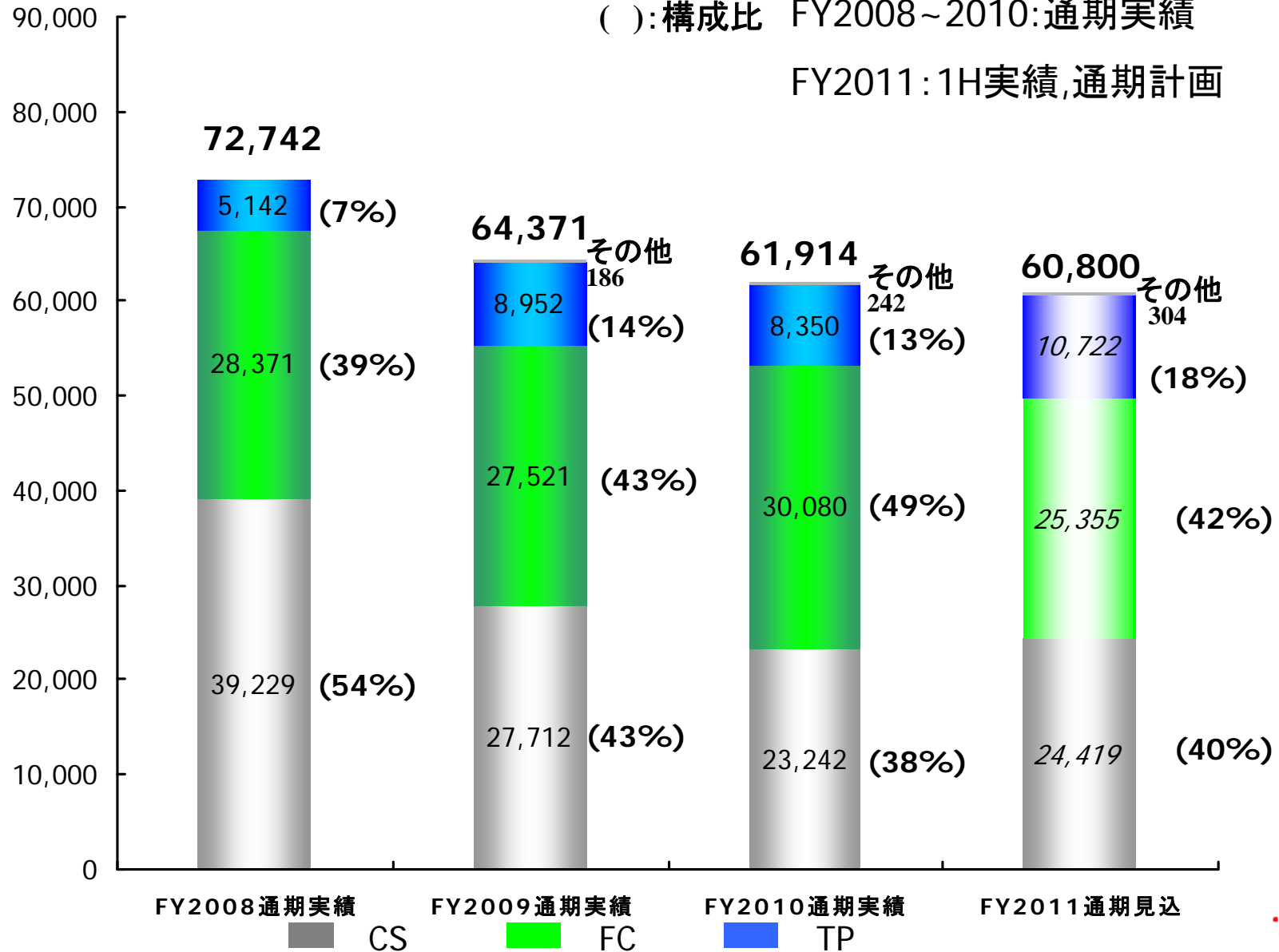


■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益



事業部別売上高(FY2008~FY2011)

売上高:百万円



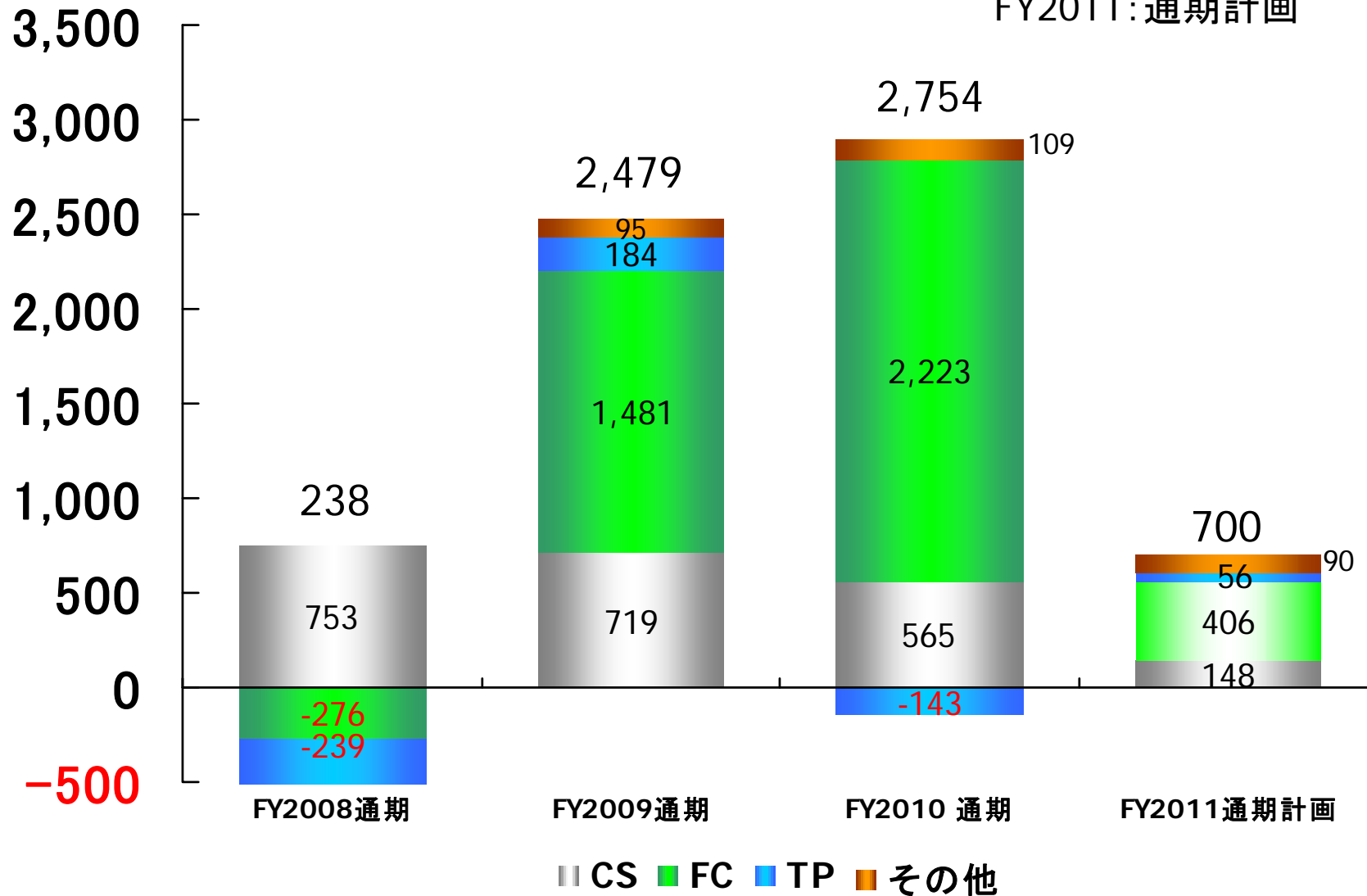


事業部別営業利益(FY2008~FY2011)

営業利益:百万円

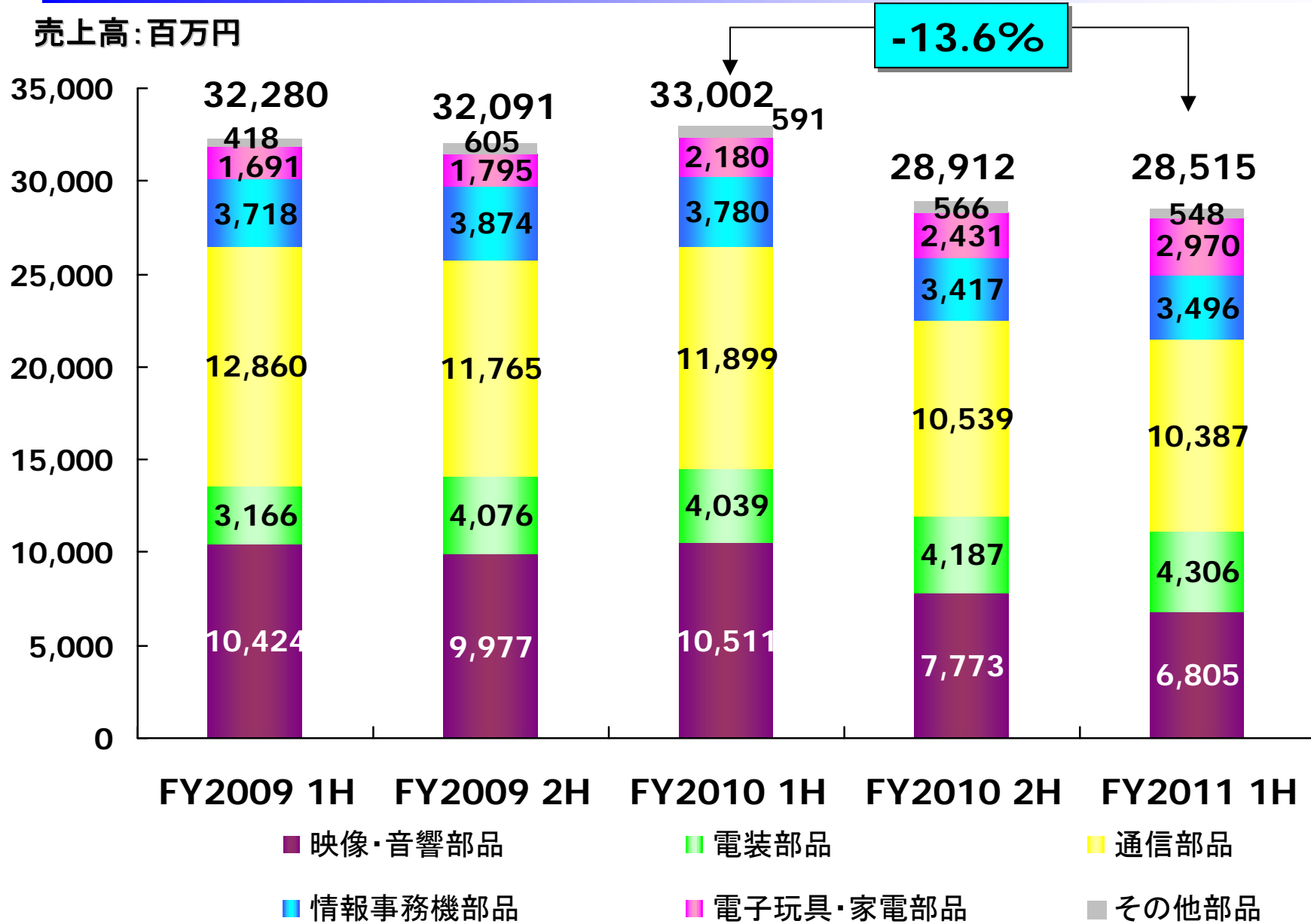
FY2008~2010:通期実績

FY2011:通期計画





参考：半期別 市場別売上高 (FY2009 ~ FY2011)





- 東日本大震災の影響
- タイ洪水の影響
- 電力供給不安
- 円高
- 原材料の高止まり
- 各種の規制
- 欧米経済・金融不安



今後の方針(円高対策含む具体的アクション) 22/46

技術

Only One製品、No1製品の開発強化

営業

既存得意先との関係強化、新規取引先の拡大、
中国市場の強化、標準品の拡販 など

生産

現地通貨ベース調達強化 など

品質

Front Loading, Design Review強化、
ZDのグローバル展開 など



管理

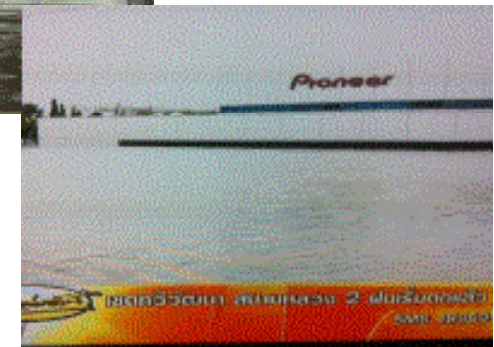
事務効率の向上



Topics-1 タイの洪水被害について

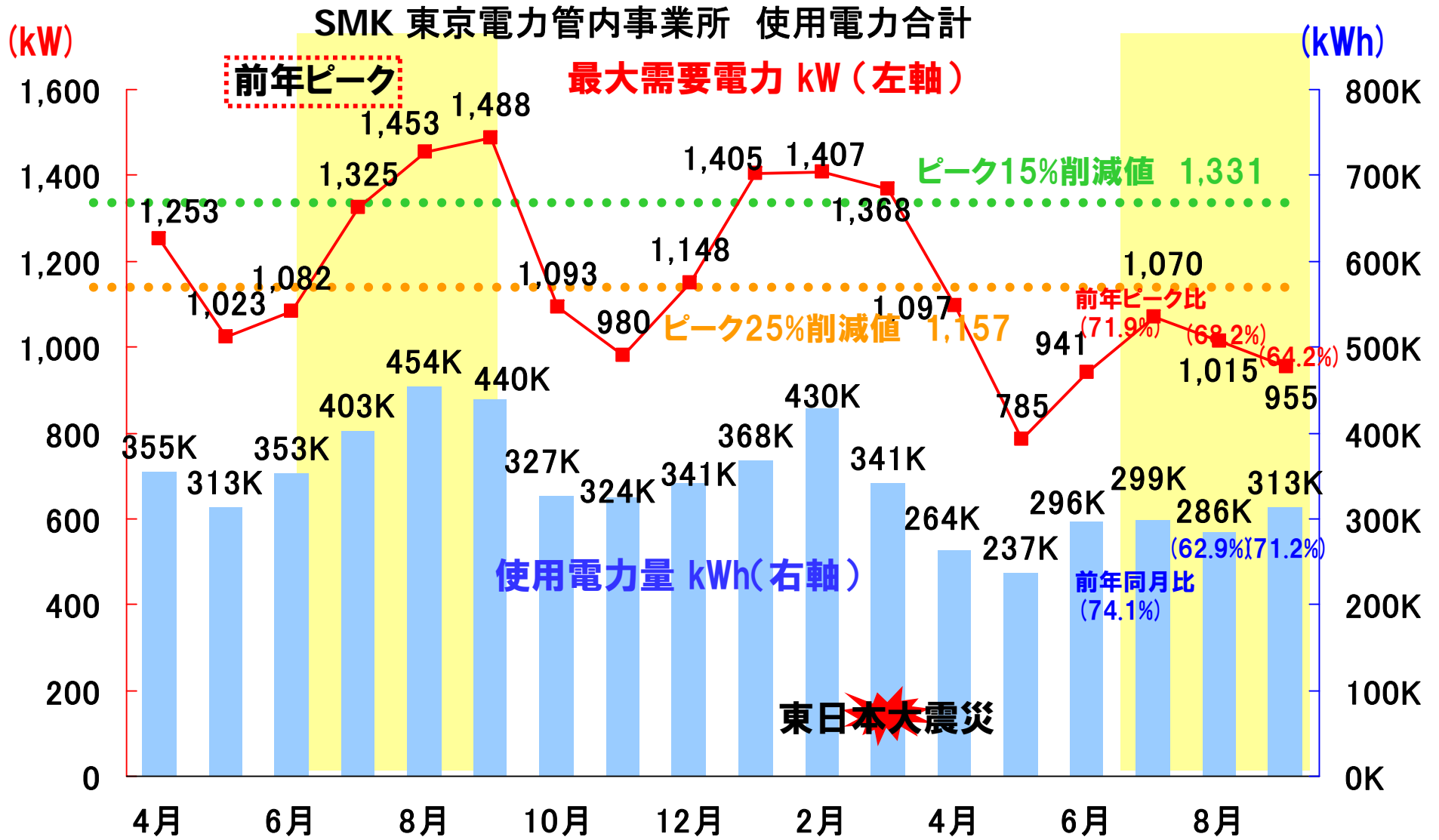


- * 日系得意先の多くが冠水・操業停止
- * 仕入には殆ど影響なし
- * 売上に影響





Topics-2 今夏の節電実績



2010年 2011年

集計対象事業所: 本社・大和・ひたち・茨城SMK・茨城プレイティング





Topics-3 TEXPO2012開催

25/46

4年ごとに開催のSMKプライベートショー(技術展)

開催日程:2012年6月6日(水)~8日(金)3日間

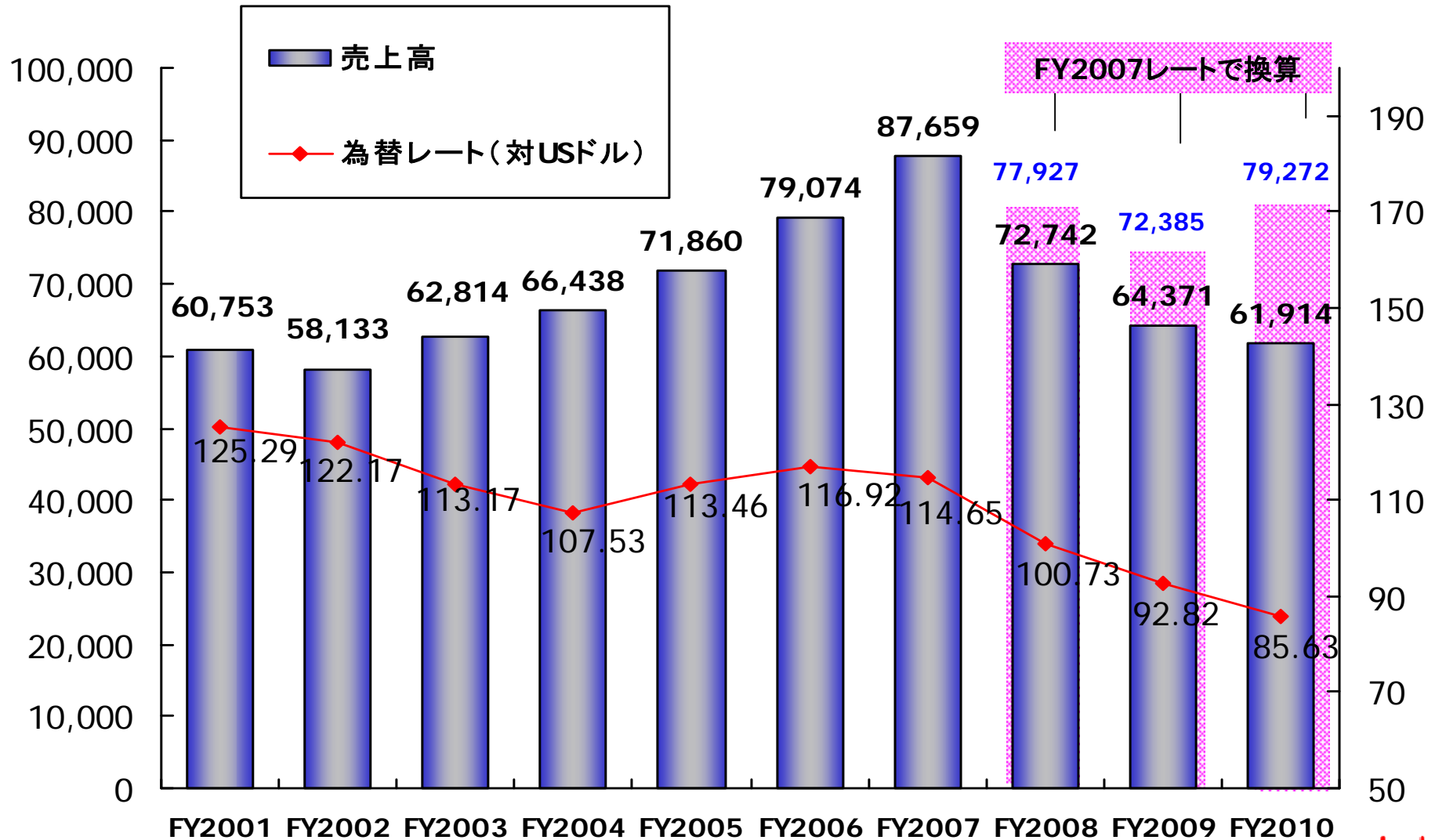
開催場所:ガーデンシティ品川(旧ホテルパシフィック東京)



売上高の過去10年推移

売上高: 百万円

平均為替レート: 対USDドル(円)





CS事業部



CS事業部とは

28/46

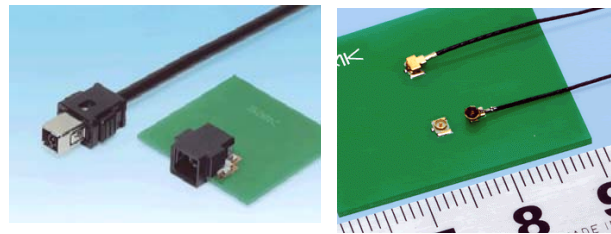
CS = Connection System

【主要生産品目】 : コネクタ/ジャック

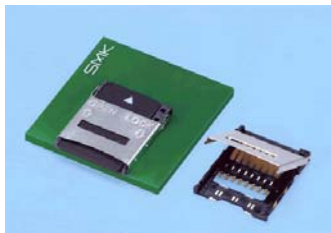
■コネクタ



FPCコネクタ



同軸コネクタ



カードコネクタ



インタフェースコネクタ

■ジャック

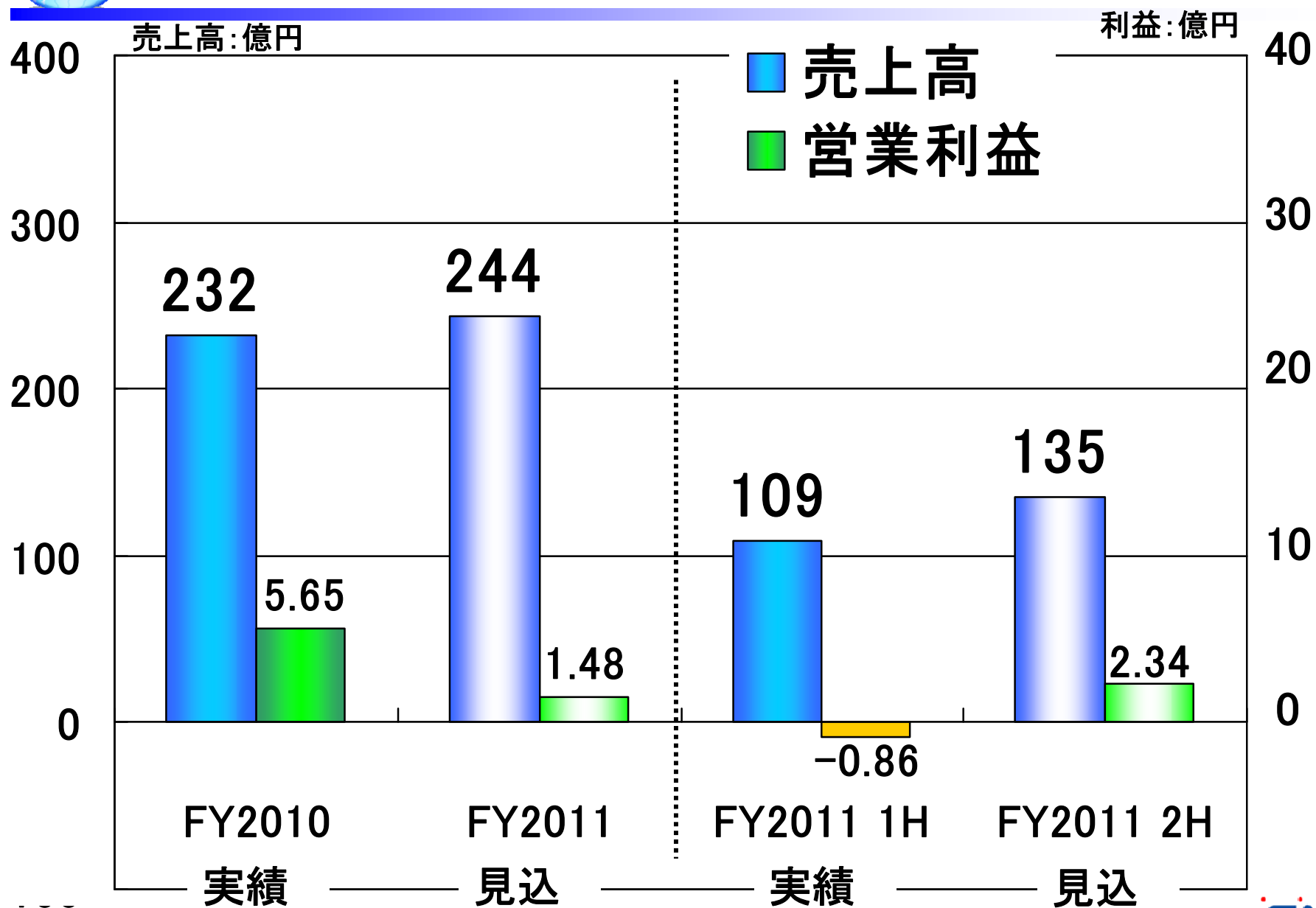
ピンジャック
ジャックボックス



電源ジャック
ヘッドホンジャック

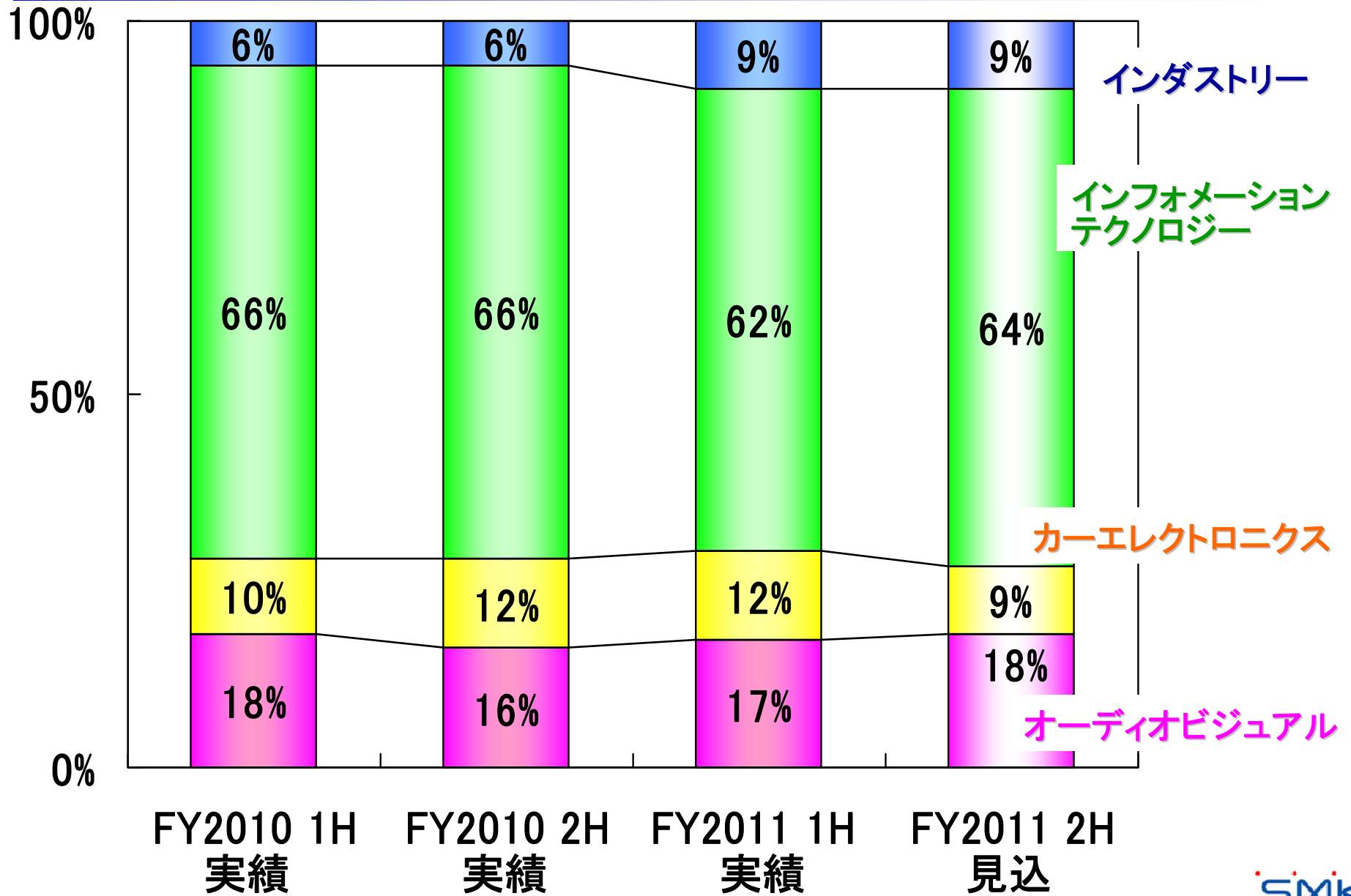


CS事業部 売上高、営業利益(連結)



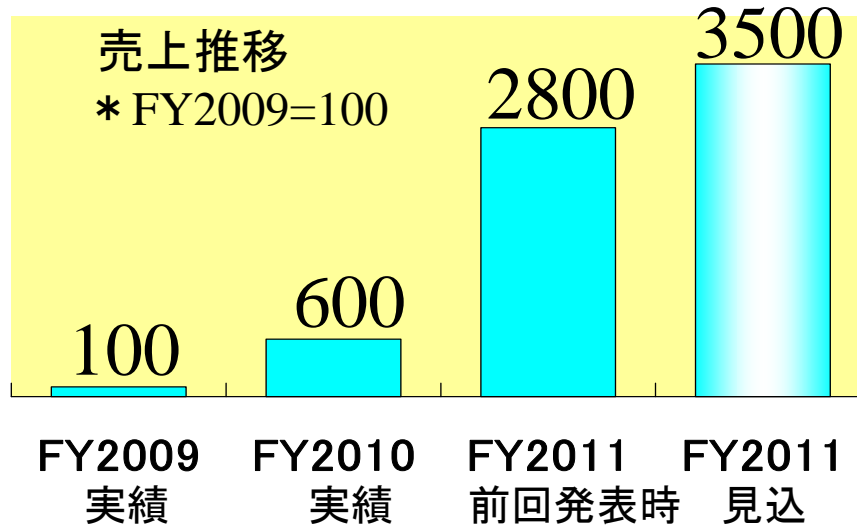


CS事業部 市場別売上推移(連結)



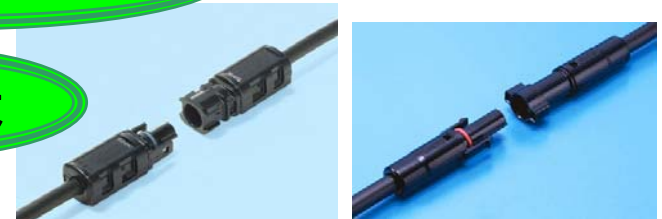


ソーラー用コネクタ：PVシリーズ



グリーンエネルギー

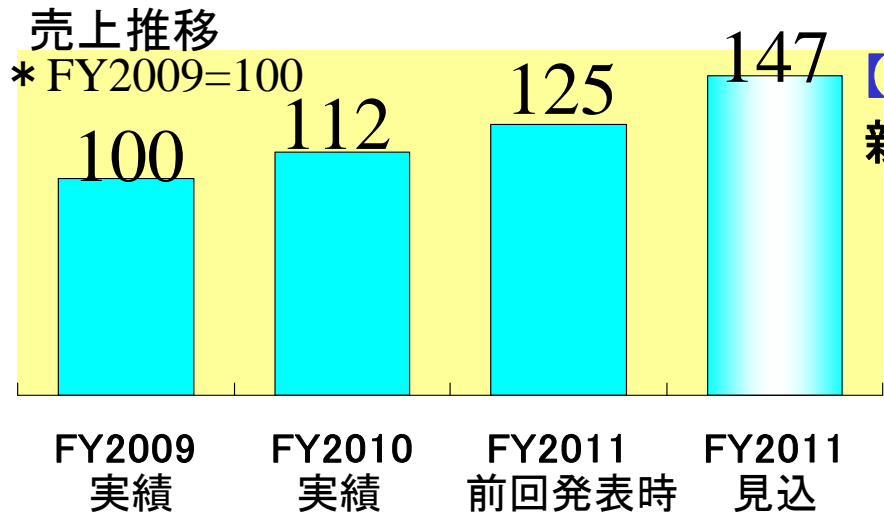
市場拡大



- ◆ 業界最小クラス
- ◆ 簡単施工
- ◆ 防水・耐候性・難燃

バリエーション
拡充

バッテリーコネクタ：新製品 High Performance Pogo



【小型機器向：スマートフォン、携帯電話】

新構造 “High Performance Pogo”



- ◆ 小型・低背化
- ◆ 高接触信頼性
- ◆ 耐衝撃

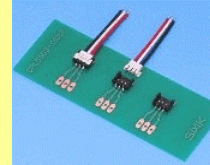


スマートフォン・携帯電話/タブレットPC市場

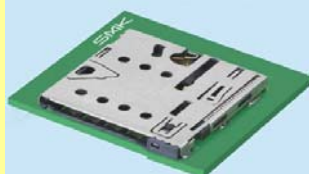
圧接・圧着 コネクタ

IDシリーズ 最低背クラス

多極対応
シリーズ化



microSIM カード コネクタ



低背/省スペース追求
バリエーション増



FPC コネクタ

ENシリーズ



省スペース・低背
高速伝送
オリジナル新タイプ

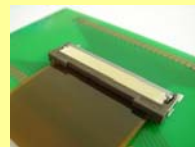
エコロジー市場

LED照明用コネクタ

長寿命
環境対応



カーエレクトロニクス市場 車載カメラ用等



ヘルスケア市場

医療機器用コネクタ
インタフェースコネクタ
センサーコネクタ



成長への再起動

1. 積極的な技術・商品開発

Only 1を求めて
No. 1を目指して

成長市場への集中とスピード

高付加価値品への取り組み

2. 効率追求

投資 生産 計 販 支 援
設 拡 支 援

積極的な開発を効率よく

3. 競争力UP

扱い易さ 性能 質 格 納 期
性 品 価 納 期

内製化と中国での自動化

VA/CD

魅力ある商品！





FC事業部



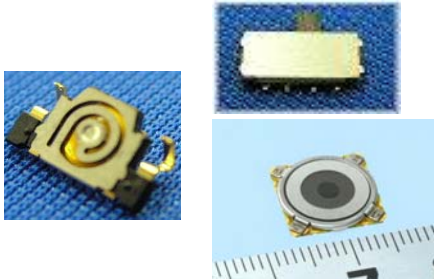
FC事業部とは

35/46

FC=Functional Components

【主要生産品目】

■SW (Switch)



各種スイッチ

■RC (Remote Control)



各種リモコン

■CU (Composite Unit)



Transfer Jet™対応
アンテナカプラ



ACアダプタ



コントロールパネル

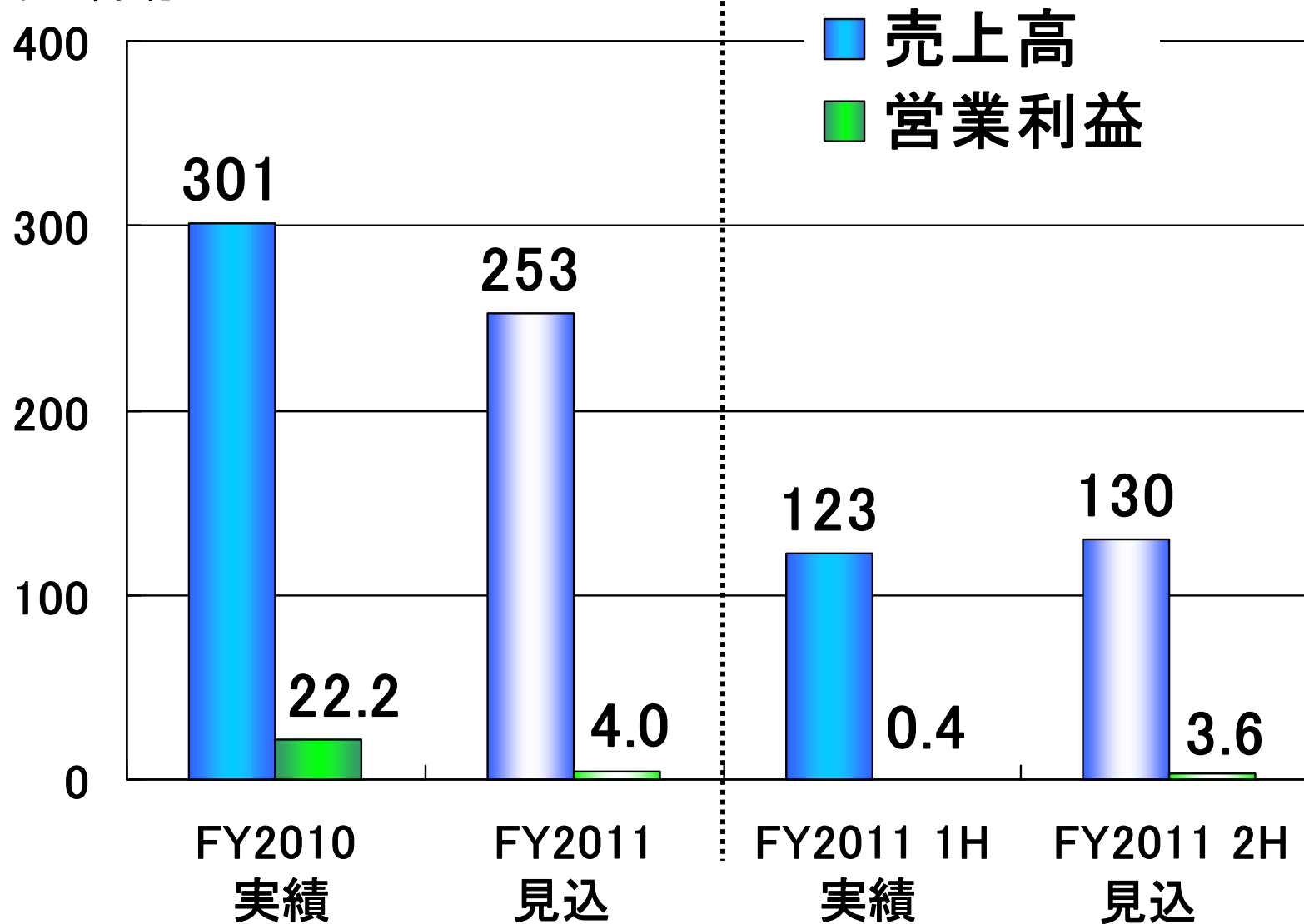


カメラモジュール



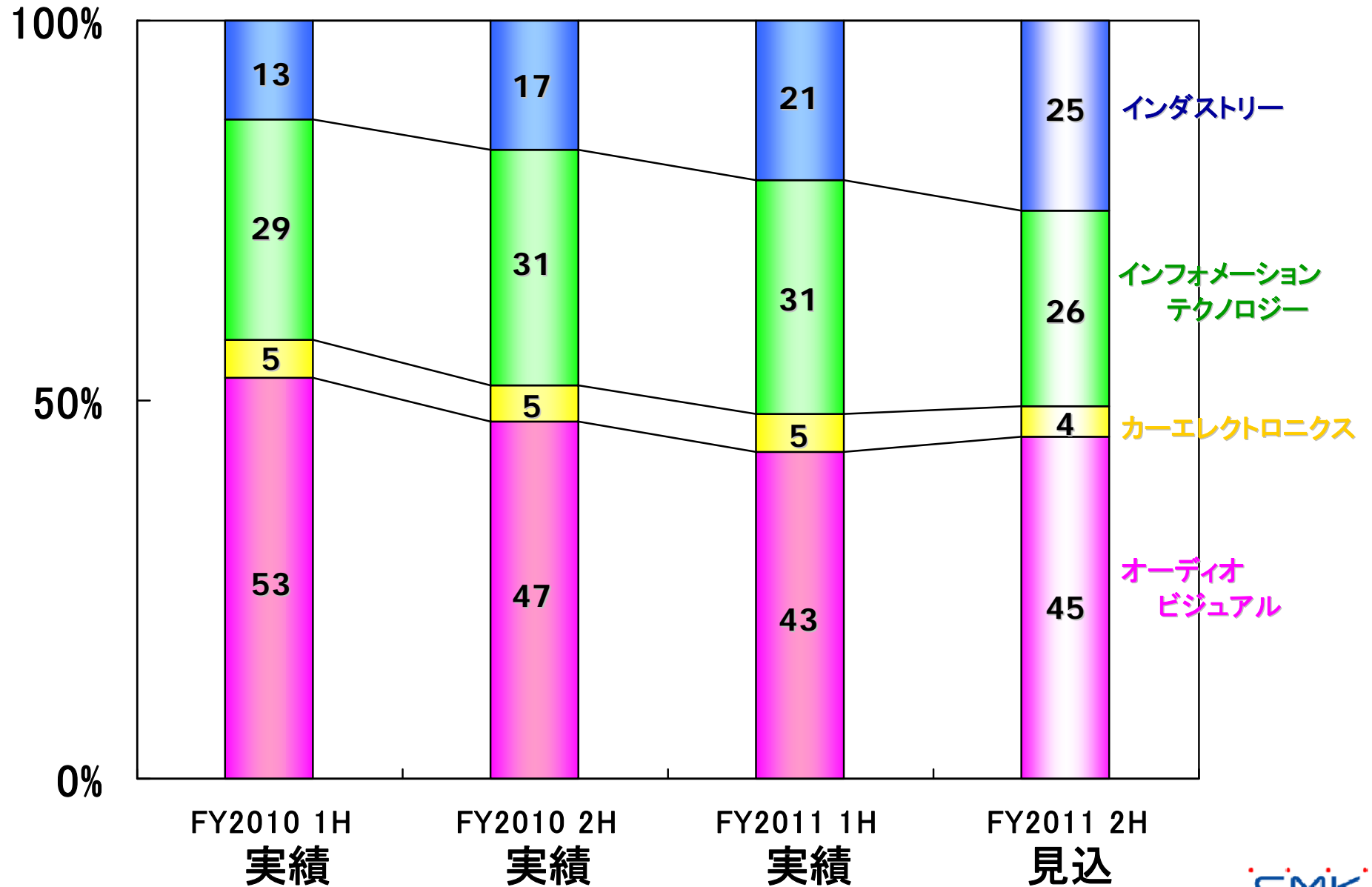
FC事業部 売上高、営業利益(連結)^{36/46}

売上高: 億円





FC事業部 市場別売上推移(連結) 37/46



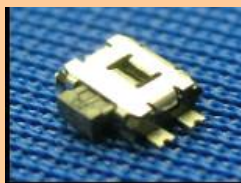


FC事業部 重点取組み市場/重点製品 38/46

Smart Phone



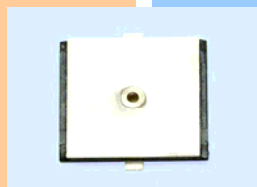
1ドームスイッチ



薄型水平型
スイッチ



静電容量スイッチ

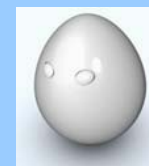


アンテナカプラ



RFリモコン

Audio & Visual



モーションコントロール
センサー搭載リモコン



車載用リモコン
(カーナビ・オーディオ)



ラバー単キー
スイッチ

Car Electronics



カメラモジュール



エアコン用リモコン



サニタリー用リモコン

Home Appliance

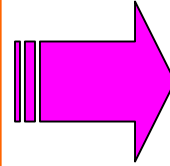


FC事業部 FY 2011方針

39/46

ビジネス環境

- ・世界経済の冷え込み
- ・円高
- ・原材料の高値
- ・災害(サプライチェーン寸断)



取り組み

1. 販売促進活動の強化

- ・新規顧客の開拓
- ・既存顧客のシェアアップ

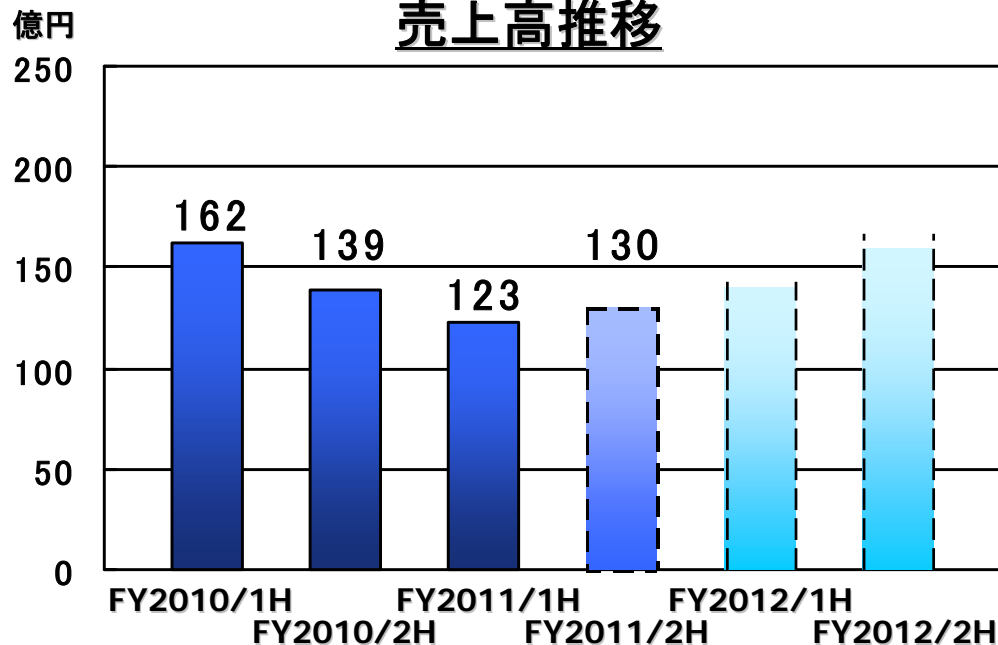
2. 新商品開発の強化

- ・新技術採用商品
- ・積極的技術提案

3. 原価低減

- ・自動化・省人化の積極推進
- ・内作化率の向上
- ・商品設計における省資化
- ・固定費圧縮

売上高推移





TP事業部



TP事業部とは

TP=Touch Panel

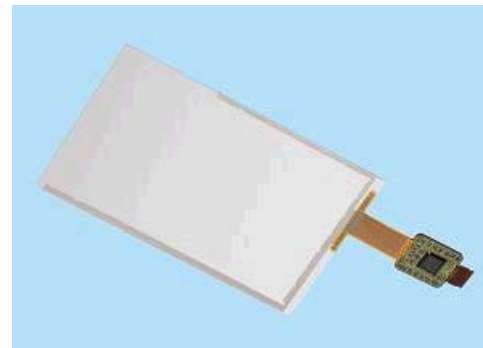
【主要生産品目】 : タッチパネル

【主な用途】

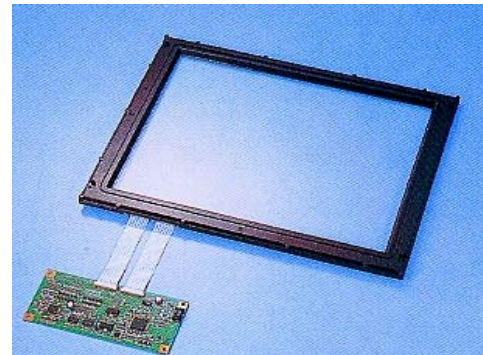
抵抗感圧式



静電容量式



光式

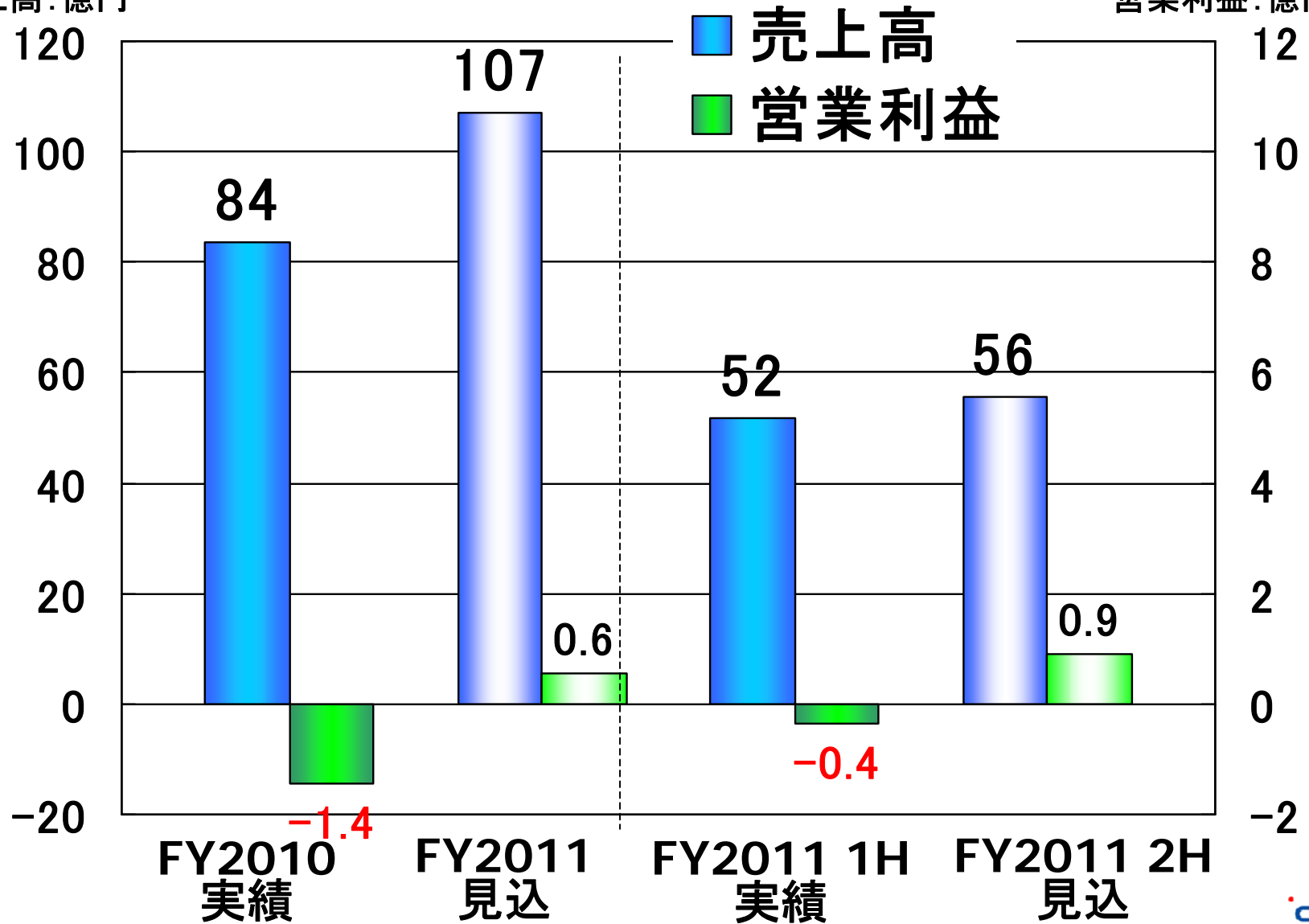




TP事業部 売上高、営業利益(連結)^{42/46}

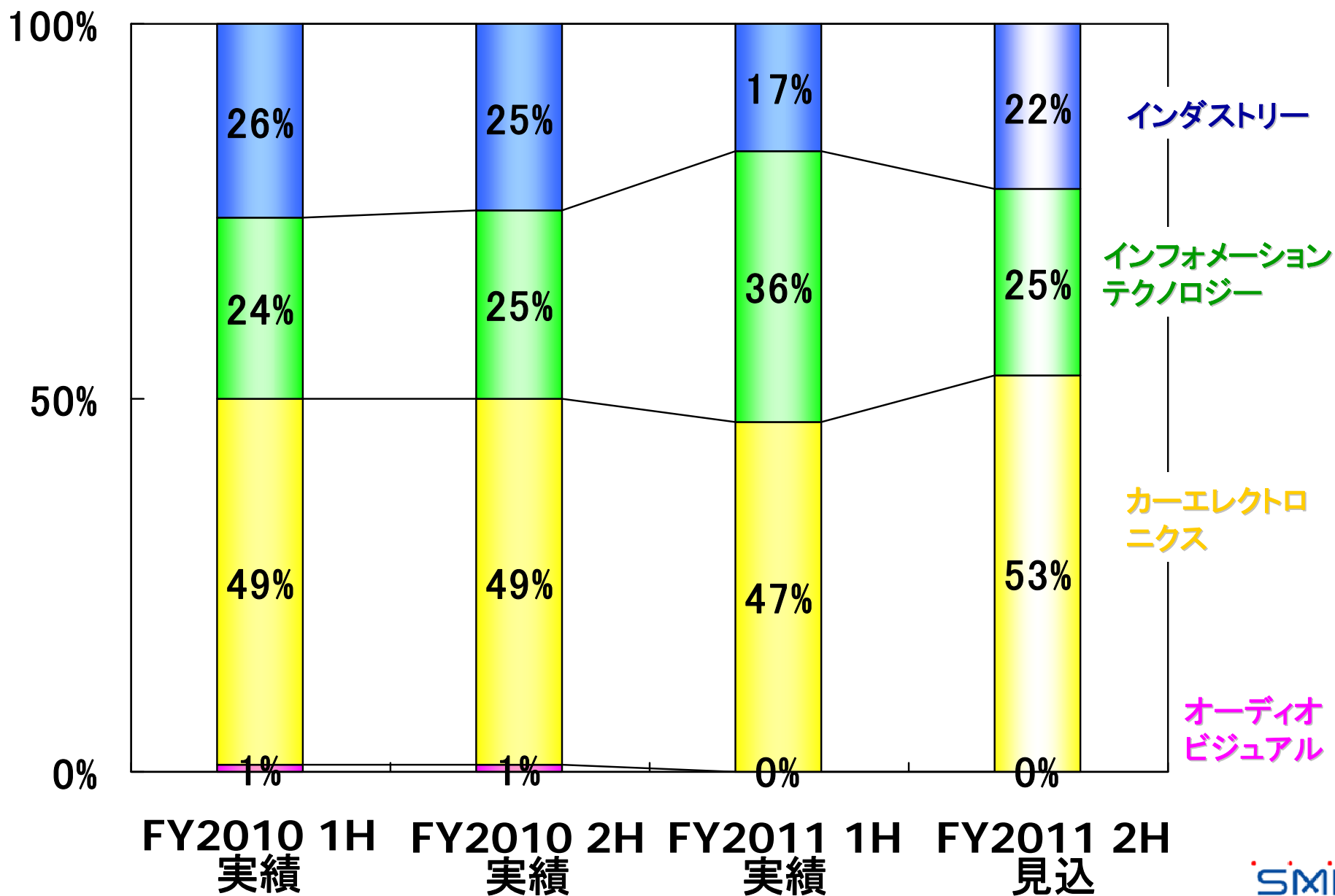
売上高: 億円

営業利益: 億円





TP事業部 市場別売上推移(連結)





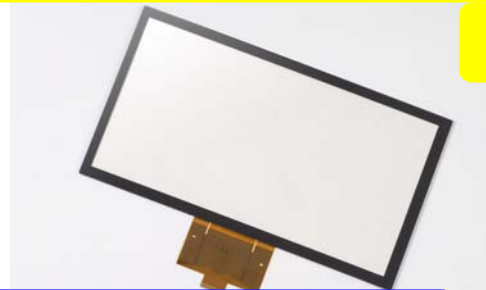
TP事業部 重点取組み

44/46

新製品の拡販

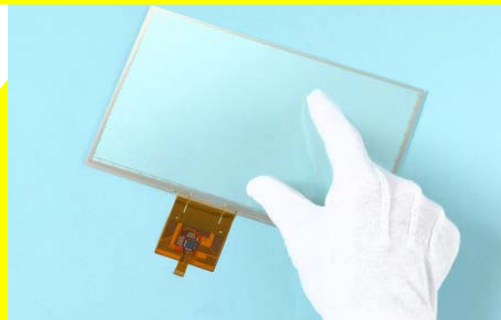
ITOレス抵抗感圧式

中型サイズ静電容量式



サイズ: 7~11.6インチ
 用途: タブレット端末等
 特徴: 薄型、軽量、堅牢性

車載仕様静電容量式



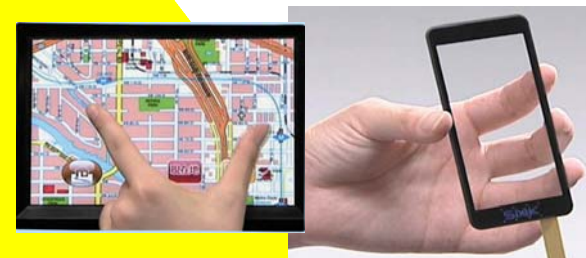
サイズ: ~8インチ
 用途: 車載(純正仕様対応)等
 特徴: 手袋入力可、フルフラット
 最大10点入力



サイズ: 2~15インチ
 (フィルム/ガラスタイプ)
 用途: モバイル機器、各種事務機器、
 FA機器 等
 特徴: 耐久性、柔軟性



新用途への参入



シェア拡大

新製品3点は、10月26日から開催のフラットパネルディスプレイ総合展示会「FPD International 2011」に展示しております。
 デモ展示: 中型静電容量TP、車載仕様静電容量式TP 静止展示: ITOレス抵抗感圧式TP





TP事業部 FY 2011方針

45/46

事業拡大に向けて

1 海外市場の攻略

2 利益の確保

新製品開発

現場改善

PH工場のOut-Out品への注力

為替対策

～ドル安対応～

生産拠点シフト

ドル建購入/海外材料採用拡大



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別の事情の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

本日の 投資家説明会の資料は、個人投資家の皆様にも ご覧頂けるよう、SMK ホームページ・IR情報 にて 配信をいたします。

SMK HP : <http://www.smk.co.jp>